

要請番号 (JL63023A05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	C401 水産開発	20～45歳のみ	個別	新規1代目	2年	・2024/1・2024/2・2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業・農村開発省

2) 配属機関名（日本語）

マトラ水産専門学校

3) 任地（マプト州マトラ） JICA事務所の所在地（マプト市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約1.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1960年代設立の全国唯一の水産学校であり、学生は全国から集まる。水産養殖、航海、船舶機関の3コースがあり、技術系の専門学校が少ない同国において本校への競争率は高く(約10倍)、入学は10年生(日本の高校1年生)から可能。その場合は5年間で、12年生からの入学なら3.5年でディプロマ(短大卒)を取得する。学士コースはないので、学士まで進みたい者はマプト海事大学(水産学科あり)などに進学する。約200名の学生が在籍しており、教員は約20名。2009年3月まで海外漁業協力財団(OFCF)が技術協力を行っていた。また2011年4月から2013年3月までシニア海外協力隊が派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

広域にわたってインド洋に面しているモザンビークは、豊富な海洋資源を有する環境にあり、同学校はモザンビークの海洋水産業に携わる人材を養成する主要機関であるが、適切な技術や知識を教授できる講師が慢性的に不足しており、今回の要請となった。基礎課程では「漁業技術コース」「機関士コース」、中級課程では「漁具・漁法コース」「小型船舶コース」「漁業経営コース」があり、2006年12月から2009年3月まで、OFCFにより機材供与、船舶の運用技術及びメンテナンス指導が行われていた。協力隊員には生徒及び職員に対する指導や研修等を通して、技術や知識の向上に加え、コース全体の質の改善も期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

実習船を使った航海術、漁業実習の指導が求められる。

- 小型船舶操船法
- 漁業技術に関する実習(建て網、延縄などの沿岸漁業全般の知識)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習船、GPS、レーダー、魚群探知機、無線機、網など

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

校長:50代女性

同僚教員 30代～50代

【活動対象者】

教員、学生(14歳～18歳程度)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ポルトガル語	ポルトガル語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）	[学歴]：（大卒） 備考：同僚と同等の学歴が求められる
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）5年以上 備考：指導者として活動するため
[参考情報]：	
・ 小型船舶免許	

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～35℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】